

# ニュースレター 秋/冬号

テキサス日本語教師会  
Japanese Teacher's Association of Texas



## 会長のご挨拶

新型コロナの流行から3年経過し、ようやくアメリカでは活気を取り戻しつつあります。今はインフルエンザの季節を迎え心配の種は尽きませんが、2022年もあとわずかとなり、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今年もJTATでは様々な活動を続けてまいりました。一番の成果は、テキサス州各地域の日本語スピーチコンテストと州大会の評価表を統一できたことだと思います。本件についてはスピーチコンテスト担当の副会長の加藤先生ならびに各地区のリエゾンの先生方のご尽力のお陰で達成することができました。本当にご苦労様でした。今後ともテキサス州のスピーチコンテストが今まで以上に盛り上がるよう、会員同士協力して行けたらと思っております。

今年は3年ぶりに対面でTFLAがフリスコで、ACTFLがボストンで開催されました。特にTFLAではJTATのセッションで多くの先生方が日

頃のレッスン内容や研究の成果を発表してくださいました。Zoom会議は便利ですが、リアルの対面でJTATの先生方とお会いできたことは、やはり雰囲気の違い、とても楽しかったです。



1  
会長のご挨拶  
ベイラー大学  
プレフューメ裕子

2  
日米協会会長のお言葉  
サンアントニオ日米協会  
川邊裕子

3  
Kanji x Reading: KANDOKU  
ケイティーISD  
井上とも子

5  
テキサス州からの大学生が  
J.LIVE Talkで活躍しました!  
ベイラー大学  
プレフューメ裕子

6  
JLIVE2022に参加して  
テキサス大学サンアントニオ校  
福田真樹子

7  
2023年  
JTAT SIG 勉強会について  
JTAT書記  
鈴木真美子

8  
新会員紹介

9  
My Experience at the TFLA 2022  
Conference  
バスカル高校  
ベイズ・クラリッサ

10  
編集後記

2023年度は、スピーチコンテスト、JTAT勉強会、TFLAなど対面でお会いできる機会が増えると思います。そして、これらの機会を通じて会員同士の絆が深まることを願っております。

11月には、JTATの役員選挙が行われました。役員選挙においては、リチャードソン高校の中重先生(委員長)、ベイラー大学の藤井先生、パークナー高校のマクドナルド先生、アドバイザーとしてテキサス大学サンアントニオ校の福田先生、以上の会員の先生方に選考委員をご快諾いただきました。新役員選出のためご尽力くださいましたことを、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

今学期、ほとんどの学校では、新型コロナウイルスの感染が収まりはじめた秋学期から対面授業を再開しています。オンラインに慣れてしまった生徒や学生とリアルの対面で向き合って授業することは、先生方にとって容易ではなかったと思います。JTATは、そのような会員の先生方のためにも勉強会や交流の場を設け続けています。今後ともご質問やお困りのことなどがございましたら、お気軽に役員にご連絡ください。

最後に私ごとになりますが、JTAT書記および副会長3年を経て会長2年、合計5年間にわたり役員として、皆様には大変お世話になりました。こうして無事に、役員の任期を満了することができましたことを、心より御礼申し上げます。未熟な点や、至らなかった点などが、多々あったであろうと思います。ご迷惑をおかけしてしまったこともあったかと思いますが、会員の皆様、並びにJTAT役員、理事からの温かいサポートを受けてどうか次期会長のウッドランズ・カレッジパーク高校の北条エリザベス先生に引き継ぎができることになりました。過ぎてしまえば早いものですが、皆様と一緒に協力し合った時間は、充実した素晴らしい経験となりました。ありがとうございます。

来年は会員の皆様にとりましてより良い一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

JTAT会長  
ベイラー大学  
プレフューメ裕子



## サンアントニオ日米協会 会長のお言葉

川邊裕子

サンアントニオ日米協会にご連絡頂きありがとうございます。当協会の歴史と活動の一部を紹介させていただきます。

当協会は1985年12月に創立して以来、主に地域社会への日本文化紹介や日米親睦の促進などの活動をしています。1987年に熊本市との姉妹都市提携が当時の市長ヘンリー・シスネロにより結ばれました。1988年には「友好の翼」で273名の熊本市民がサンアントニオを訪れました。その後はサンアントニオ、熊本の様々な団体が相互交流をしています。熊本・サンアントニオ市姉妹都市提携記念に植物園に「熊本園」が1989年に開園されました。現在ではトヨタ社の誘致に貢献された白根尚子さんの銅像が入口に立っております。当市にお越しの際は是非お立ち寄りください。

サンアントニオ日米協会は地域日本語教育に

多くの力を注いでいます。日本語クラスは初級と中級のコースを提供しており、今後はJLPTのクラスなどを増やす予定です。また、2007年から日本語スピーチコンテスト地区大会のスポンサーになっています。2017年からは全米日米協会の協力のもとに、熊本とサンアントニオの高校生のための「TOMODACHIイニシアチブ」を始めました。このプログラムは日米の次世代のリーダーシップの育成をめざしています。最初の年は6名の熊本の高校生を当市が受け入れ、その翌年はサンアントニオの高校生6名が熊本でホームステイそして高校の授業に参加しました。また、2019年6名の熊本北高校生達を迎えた際はホームステイや市、UTSA、高校の訪問などの機会を設けました。この体験によって、国際人としての第一歩を味わって貰えた事でしょう。彼らが両市で養った経験は日米親睦に繋がる事を確信しています。

当協会は地域文化交流として、Asian Festival、秋祭りなどをはじめ、会員達は機会があれば小学校、中学校、大学そして病院等を訪ね、日本文化の紹介や日本についてのプレゼンテーションを行っています。今年は小規模ながら「忍者ワークショップ」や米国外

交官の方を招待し「外交官になる為には」のプレゼンテーションの企画実行しました。また今年からMilitary City U.S.Aの愛称で知られている我都市として日本に駐屯経験のある方々に日本の良さを家族や友人に語ってもらい親日家を増すべく「Military Appreciation Event」を開始しました。

最後に、私事ですが当協会の会長であると共に、地域日本語教育に携わって26年、日本語学習者の急激な増加や学習の目的の変化を実感し頼もしく思っています。今後どのように発展して行くのか想像すると本当に楽しみです。

川邊裕子  
サンアントニオ日米協会会長

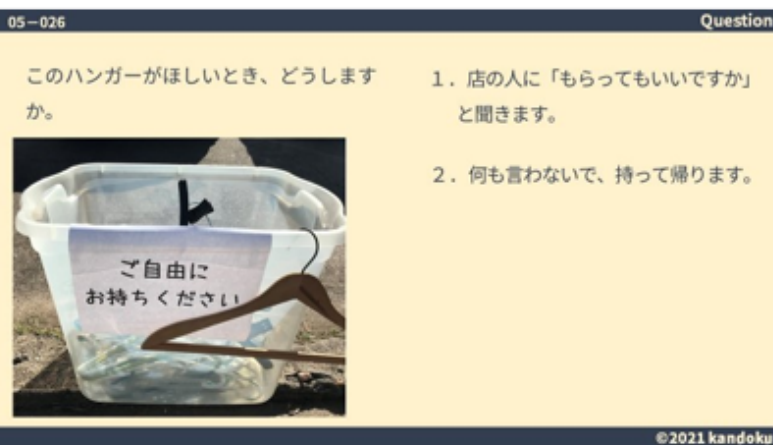


# KANDOKU

ケイティ-ISD 井上とも子

漢字の一文読解教材ウェブサイト、

「KANDOKU」をご紹介します。KANDOKUは、アメリカと日本在住の教員（井上とも子、岡本智美、大高美里）の教材開発プロジェクトです。KANDOKUウェブサイトでは、先生が教室で使えるスライドと、生徒が自分で学習できるオンラインゲームを公開しています。



教室用スライド



オンラインゲーム

KANDOKUウェブサイト（教材は『漢字勉強室- KANDOKU教材一覧』ページに置いてあります）

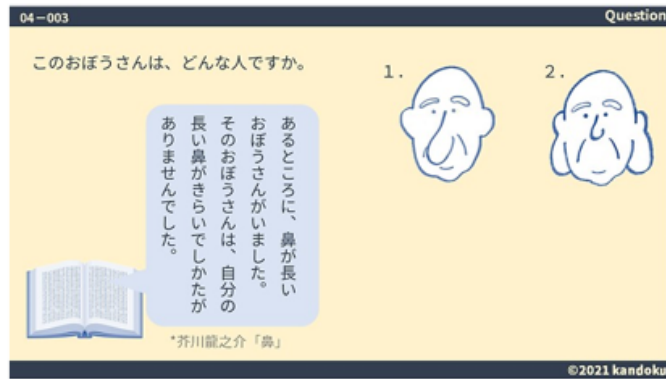
<https://kandoku.wixsite.com/kandoku-factory>

N3オンラインゲーム

N4 アンケート（教科書『げんき』に出てくる漢字を取り上げました）



## 漢字を文脈の中で理解する練習

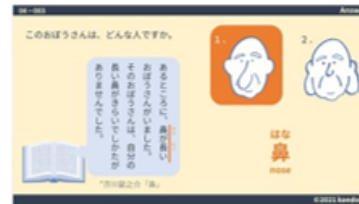


KANDOKUウェブサイト（教材は『漢字勉強室-KANDOKU教材一覧』ページに置いてあります）

<https://kandoku.wixsite.com/kandoku-factory>

N3オンラインゲーム

N4アンケート（教科書『げんき』に出てくる漢字を取り上げました）



日本語を効果的に読み書きするためには、2種類の漢字の知識と技能を身につける必要があります。

1. 個々の漢字を使いこなし、理解する能力（従来の漢字指導。漢字を書いたり、読み方を覚えるなど）

2. 漢字や熟語を文脈の中で処理し、理解する能力。この知識と能力を学習者に与えることが最も重要（Tohsaku 2007）。

KANDOKUでは、この2番目のスキルの強化を目指しています。

この教材は、漢字学習の動機づけとして、また漢字学習後の練習として使うことができます。実際に使った先生からは、クラスで「自然な発話」が生まれたという報告がありました。「どうして、それが正解なのか」というディスカッションは、クラスでの会話の機会を作るとともに、漢字の形と意味と音との結びつきを強化する機会となりました。

私たちの周りには、SNSやウェブサイト、道路標識、文学作品、商品の紹介など「漢字が入っている文」がたくさんあります。

KANDOKUでは様々な媒体の中で使われている文を素材にして、問題を作っています。

ぜひ生徒さんと楽しく使っていただいて、感想などお知らせいただけたら嬉しいです。

### Reference

Tohsaku, Yasu-Hiko (2007). Effective Ways to Teach Kanji in an AP Japanese Language and Culture Course

## Reading Authentic and Semiauthentic Texts



KANDOKUウェブサイト（教材は『漢字勉強室-KANDOKU教材一覧』ページに置いてあります）

<https://kandoku.wixsite.com/kandoku-factory>

N3オンラインゲーム

N4アンケート（教科書『げんき』に出てくる漢字を取り上げました）

## テキサス州からの大学生が J.LIVE TALKで活躍しました!

ベイラー大学 プレフューメ裕子

“The Japanese Learning Inspired Vision and Engagement Talk (J.LIVE Talk) was founded in 2015 as a college-level Japanese language presentation competition that emphasizes a comprehensive range of learned communication skills.”

<https://eall.columbian.gwu.edu/jlive-talk>

コロナ感染症の影響でZoomで行われていたJ.LIVE Talkが今年にはワシントンD.C.のジョージワシントン大学で再開され、テキサス州からは4名の大学生が、決勝に招待されました。そして、なんと4名全員が賞を受賞しました。

<https://eall.columbian.gwu.edu/jlive-talk>

### 大学部門カテゴリーI

金賞: 「美しさのひみつ」

ベイラー大学 サルマ・バティシャ

銀賞: 「質問することを学ぶ」

ベイラー大学 エバン・アヴェラ

銅賞: 「鋼のような心」

ベイラー大学 ガブリエル・エルサウイ

### 大学部門カテゴリーIII

金賞: 「共存する日本社会へ」

テキサス大学サンアントニオ校 ライン・カイ

4人のテーマは多岐に渡り強いメッセージ性を持った素晴らしい発表でした。カテゴリーIの金賞受賞者には、賞金300ドル、南山大学での8週間の夏季集中日本語コースへの参加費用(奨学金)、米国の主要空港から名古屋までの往復航空券、並びに3300ドルの奨学金、カ

テゴリーIIIの金賞受賞者には、国際基督教大学(ICU)の6週間の夏季集中日本語コースに参加するための奨学金、米国の主要空港から東京までの往復航空券、2700ドルの奨学金と住宅補助が授与されました。

ベイラー大学からは3人の学生に同行して藤井先生と私がワシントンD.C.に行きました。コンテスト前日の土曜日には、数時間でしたが学生と共にD.C.観光も楽しみ、思い出に残る週末になりました。

ベイラーの学生の活躍については大学の広報でも取り上げてくれました。

<https://www.baylor.edu/mediacommunications/news.php?action=story&story=231231>





J.LIVE talkは、もともと大学レベルの日本語学習者を対象とした全国規模のプレゼンテーション・コンテストとしてスタートしましたが、近年高校部門も始まりました。来年は高校の先生方も生徒さんにチャレンジさせてあげてみてはどうでしょうか。

当日の様子はYouTubeで視聴できます。

<https://youtu.be/woArqSAW5mQ>

ベイラー大学  
プレフューメ裕子



## JLIVE2022に参加して

テキサス大学サンアントニオ校 福田真樹子

今年もジョージワシントン大学でJLIVEがあり、私は学生の引率で初めて大会に参加してきました。今回大会に参加した学生は、JTATのインカレでも司会を務めてくれたラインカイさんでした。カイさんは、UTSAで上級レベルの日本語を履修し、今年の夏UTSAで初めて行われたイマージョンプログラムのTAとして私をサポートしてくれるなど、教室外でも色々活躍してくれた学生でした。カイさんは「共存する日本社会へ」という題材で、将来日本企業で働くことを前提に、今彼が不安に感じている日本の人種差別問題について話しました。そして、質疑応答では、日本人の人種差別に対する認識度の低さを提示し、日本は差別を差別として認識する必要があるということ述べました。上級レベルのスピーチはどれも完成度が高く、質疑応答の日本語は大変素晴らしいものでした。金賞という素晴らしい賞を受賞することができ、彼の頑張りが認められたことを本当に嬉しく思っております。カイさんの活躍をUTSAのウェブサイトで取り上げてもらいましたので、こちらにリンクをシェアさせていただきます。

<http://colfa.utsa.edu/colfa/news/entry/third-year-utsa-japanese-student-j-live-talk-japanese-speech-contest>



## 2023年 JTAT SIG 勉強会について

JTAT書記 鈴木真美子

JTAT会員の先生方,

テキサス日本語教師会 (JTAT) では、2023年SIG#2を1月22日 (日) に実施致します。

日時: 2023年1月22日 (日) の午前9時-12時 (CDT)

テーマ: 『AP Japanese, Culture & Beyond パート2』

講師: アベ口美恵子先生, Modern Language Department Head, Miami Palmetto Senior High School; Adjunct Professor, Florida International University  
Zoomを利用してオンラインでSIG2の勉強会を実施致します。

PD Certificate: 希望者の方には3時間の勉強会修了証 (PD Certificate)が発行されます。

参加費: JTAT会員 無料、JTAT非会員: \$10

参加申し込みフォームは後日お送りいたします。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

JTAT書記 鈴木 真美子

## Welcome to JTAT! 新会員紹介



**ダニエルミカコ**

テキサス日本語教師会の皆さま、はじめまして。フォートワースのアーリントンハイツ高校で日本語を教えておりますダニエルミカコと申します。

初めてフォートワースISDで日本語クラスを受け持ったのが2010年ですので、恐ろしく早い年月が経ってしまいました... が、その間に学生たちも変わり（10数年前はスマホを持っている学生など数えるほどでした）、教材や教え方、媒体も変わり（多分にパンデミックの影響もありますが）、毎日毎日が勉強です。

日本語を教えてらっしゃる先生は皆さん同じだと思いますが、生徒数が他言語と比べて少

ないため、一人が受け持つレベル数が多くなり準備が大変です。毎年新しいことを試みて、自分で自分の首を絞めてしまっていますが、たくさんの方と交流をもって、楽しいクラスのアイデアなど交換し合えたら良いなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



**グレース・チョーカー**

Hello, my name is Grace Chalker and I am the Head Office Admin and currently teach Intermediate Japanese at the Koan School. I've been teaching Japanese at the Koan School for almost four years. I first started teaching Japanese at Koan as a three week summer camp back in 2016 and started teaching full time in 2017. I even organized and led an 18 day study abroad trip to Japan



## Welcome to JTAT! 新会員紹介

with my former students back in 2018! It was so awesome to be able to watch my students grow and use the Japanese they learned in Japan! In addition to teaching Japanese to high school students, I also teach an online Japanese course through the Japan-America Society of DFW.

I started learning Japanese in college and graduated with degrees in Linguistics and Japanese from the University of North Texas. During that time, I got the opportunity to study abroad at Ritsumeikan University for a year in Kyoto, Japan. I'm so grateful to all of my sensei as I learned so much from them

I lived in Japan for two years as an ALT through the Sister City Exchange Program between Tyler, Texas and Yachiyo, Chiba. It was an awesome opportunity to experience what public education in Japan was like. I worked with so many talented and passionate educators during my time in Yachiyo.

In my free time I like to roller skate, cook food, play video games, and play taiko as a member of Dallas Kiyari Daiko.

I've been passionate about Japan ever since I was little. Through all of my experiences learning Japanese and living in Japan, I hope to foster a genuine interest in the Japanese language and culture.

As a new member to JTAT, I am excited to meet the JTAT members and connect with Japanese teachers across Texas!



### MY EXPERIENCE AT THE TFLA 2022 CONFERENCE

Paschal High School Clarissa Bayse

My name is Clarissa Bayse and I am a second year High School Japanese teacher in Fort Worth ISD. I am excited to share about my attendance at the TFLA Conference that took place this Fall.

As a fairly new language teacher, I am still learning about many opportunities to improve

my skills as an educator. Upon learning about the TFLA Conference, I was delighted at the prospect of attending a conference where I could interact with other language teachers, such as myself.

When planning out my conference schedule, I was very excited to see that there were workshops specifically for Japanese educators. I had been to different language trainings that provided useful skills for teaching languages, however, never any that were specific to the Japanese language. These workshops not only provided me with the opportunity to learn something specific to my content area, but it also gave me the chance to meet other seasoned Japanese teachers.

In these workshops, I was able to learn valuable information, such as the incorporation of culture in the classroom, communication via interviews, classroom and online learning, the effectiveness of extensive reading, and community collaboration.

Additionally, I am glad to have had the opportunity to meet and converse with teachers who were able to share with me their own classroom experiences and welcome me in as a fellow Japanese teacher. I appreciate the JTAT members for taking the time to present at the conference and share their knowledge.

I am excited to use what I learned at the conference and incorporate it into my classroom. This experience allowed me to learn information to further myself as an educator and meet wonderful people who share a love for teaching Japanese.

## 編集後記

テキサス教師会の先生方の皆様、

冬至も過ぎ、いよいよ年越しの準備にお忙しいことと存じますが、先生方におかれましては、ますますご発展のこととお慶び申し上げます。

さて、今回もJTATの副会長としてJTATのニュースレターを担当させていただきました。記事を書いてくださった方々に、心から感謝申し上げます。ニュースレターの作成が思ったより遅れてしまい、誠に申し訳ございません。至らない点もございましたが、皆さまのご高覧を頂き、誠にありがとうございました。

特に、今年末に日本語教師会会長としての任を終えることとなったプレフューメ裕子先生に心からお礼を申し上げます。ご迷惑をお掛けすることが多くあったと存じますが、いつものご親切なサポートを頂きまして、感謝に堪えません。理事の役をなさることになったこれからもどうぞ宜しくお願い致します。

来年度からの会長の役を引き受けてくださった北條エリザベス先生、そして会計の役を引き受けてくださった高山裕美先生へ、至らない点が多い私どもですが、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。

年の瀬を迎え、何かとお忙しいかと存じますが、どうぞお身体を大切になさってください。よき春をお迎えになられますようお祈り申し上げます。

来年も何卒宜しくお願い致します。

JTAT 副会長・ニュースレター担当

ノーステキサス大学  
アンジェラ・ハリス